



北海道地方

北海道旭川市の道路橋梁の改良

北海道旭川市民の鎮守上川神社の参宮道路にして、行樂の神樂岡公園道路である十六、七丁目間を神社下に抜いた、幅員十五メートル、延長六百七十メートルの新道路は工費一萬六千八百圓を投じ鋭意改良工作を急いでゐるが、融雪と同時に完成の豫定である。同道路には上川神社の氏子有志が献燈會を組織し、春日燈籠式の照明燈を三十餘基建設する由である。尙忠別川橋梁（幅

員八メートル延長百八メートル）は總工費三萬九千圓を以つて鋭意架替工作を急いでゐるが、前記の道路と同時に竣工の豫定である。従つて陽春になれば旭川市民は交通上非常な利便を享けるに至るであらふ。

關東地方

群馬縣の道路網

赤城・榛名・妙義の上毛三山を巡る三市一郡の道路網は昭和三年の縣會に於て八ヶ年繼續事業として總工費五百六十萬三千圓を以つて延長七十四里五十二間を改良することに決定し、毎年七十餘萬圓を計上して

鋭意改良工作を急ぎつゝあつたが、昭和七年度より救農事業が開始されたので、前橋・宇都宮線、沼田・會津若松線、沼田・越後六沼田・越後六日町線、前橋・黒保根線、前橋・石山・桐生線、高崎・伊勢崎・桐生線、高崎・吉井線、澁川・伊香保線、富岡・下田線、仁小倉・原町線、太田・栃木足利線、館林・栃木藤岡線等の主要幹線（幅員五・五〇メートル以上）は八、九分通り完成した。

前橋・石山・桐生線の石山地内三千メートルは九年度中に開通の豫定である。此外、太田・足利線は山田郡並川地内一千五百メートル、館林町と栃木縣藤岡町間は邑樂郡大島村地内二千メートル、前橋・宇都宮線は桐生市境野間三千メートル、高崎・吉井間は多野郡地内三千メートルを残すのみでこれ亦九年度中に開通の豫定である。此等の幹線道路を横に結ぶ中之條・沼田・澁川・大胡、前橋・新町、前橋・片品等の連絡道路の改良工作も着々進行してゐる。

赤城登山道は前橋口から勢多郡富士見村箕輪から一ばい清水を経て地蔵橋まで幅員六メートル五〇のドライブウエーが完成し一方桐生方面からは黒保根村利平茶屋まで改良され、今少しで完成する。

妙義・榛名連絡線は幅員五・五〇メートルの道路が既に松井田方面から榛名に向ひ碓氷郡秋間村まで完成し、残り四キロで窪田伊香保線に連絡するが全部の開通は尙数年を要するであらふ。

榛名登山道は伊香保口も窪田口も完成し榛名裏高崎草津間は高崎から吾妻郡坂上村に達し、あと二三年で完成し、群馬郡西部や碓氷郡方面からは窪田・澁川を迂回する必要がなくなるであらふ。

日光連絡線は利根郡片品村鎌田から丸沼までは幅員五・五〇メートルの道路が開通し、丸沼・菅沼間も九年度に完成する豫定である。菅沼・日光間は栃木縣と協議の上、国立公園道路改良案を樹てることとなつてゐる。此外國道碓氷峠十三キロの難關も工

費三十萬圓を投じ、カーブ改修は成つて幅員六メートルの素晴らしいドライブウエーに改良され、中三條上田線鳥居峠も改良され下仁田・野澤線も圓山峠が幅員四メートルに開鑿されてゐるが數年後には完成の豫定である。

以上の道路が完成すれば、群馬縣の道路網は完備し、百二十萬縣民が交通上享ける利便は甚大であらふ。

工 群馬縣渡良瀨大橋の起

群馬縣東北部、栃木縣南部平地を結ぶ館林・佐野線中の渡良瀨大橋の起工式は二月四日盛大に舉行された。

同橋は昭和七年館林、佐野兩町有志によつて組織された渡良瀨架橋促進委員會を主體とした關係有志の献身的努力に依つて架橋されるに至つたものにして開通の曉には兩町の融和は勿論重要産業道路として多大なる利便を供するであらふ。

尙生れ出る渡良瀨大橋は延長五百四十五メートル六、有効幅員五メートル五、繫掛橋部二連百廿二メートル四、鐵桁橋部二十八連、鐵骨コンクリート橋にして、明春落成の豫定である。

群馬縣太田中學々生の 道路奉仕

群馬縣邑樂郡小泉町本通り道路は目下館林土木出張所の手で改良されてゐるが、一月二十八日の日曜日に數名の太田中學の學生が同出張所を尋ねて、私達が平常お世話になる道路の改修工事が始まつてゐるやうですが、是非手傳はせていたゞきたい、貴重な労働の體驗にもなるのでお願いにあがつた次第です」と申出たので、同所長は眞面目な學生の氣持を察して心よく賛成した處、彼等學生は現場で荒くれ人夫に伍して汗みどろとなり、黙々としてシャベルやモッコにかぢりついて眞剣に働いたのには所長初め所員一同はすっかり感激してゐる

非常時に際し此の純情な少年労働者の勞力奉仕は一般よりも非常な感謝の目をもつて見られてゐる。尙今後も同改良工事の繼續中は日曜日毎に出動して勤勞の體驗を續行する由である。

埼玉縣の道路改良計畫

埼玉縣當局に於ては本年度行はれる大演習に備へるために總額六十餘萬圓の追加豫算を三月開會の臨時縣會に提出して國道其他の改良工事をなす計畫である。右土木事業中もつとも注目されるのは國道九號線全部の鋪裝工事である、本年度に北足立郡上尾町まで完成し、九年度には上尾吹上間を施行することゝなつてゐるので、縣では吹上から縣境まで全部簡易鋪裝をほどこし、大演習直前までに完成する計畫である。此の工事には軍部の希望もあつたので工費二十萬圓にて九號國道全線の鋪裝をなすと共に約三十萬圓にて縣内の主要縣道たる、大里、兒玉二郡の道路橋梁に對し應急補強工

事、局部的擴張改良を斷行し、國軍の行動上遺憾なきを期する豫定である。

埼玉縣の妻沼大橋の架替

埼玉縣妻沼町より群馬縣太田に通ずる利根川に架設されてゐる妻沼大橋の架替位置問題は兩縣沿岸民が相對立して紛争を起して居たが、今回次の如き條件にて圓滿に解決したので工費四十五萬圓を以つて三年繼續事業として着工することゝなつてゐる。同橋は有効幅員五間、延長五百間、全部鐵筋コンクリートである。

一、妻沼大橋北岸道路は舊道を使用すること。二、同橋北岸から小島を經て尾島に通ずる道路を縣道に移管運動を起すこと。三、將來同橋上流石田川架橋費地元負擔の際は妻沼及び古渡、小島の三者平等負擔とすること。四、妻沼大橋の橋名を變更すること。五、架橋位置は現在の橋の上流二十間の個所（現豫定地）とすること。

埼玉縣の「道路爺さん」表彰さる

埼玉縣北足立郡芝村柳崎の江口元右衛門（五五）氏は五年餘の長い間自發的に縣道の修理清掃に勞力奉仕をなし、風雪も意に介せず、餘暇さえあれば縣道鳩ヶ谷、蕨線約六千メートルの間を始め附近の道路をシャベル片手に修理し或時は炭驛構内から玉砂利をもらひ單身荷車に積んで運び、不良箇所を修理し常に路面の危險物に注意して取り除き清掃して交通安全を圖つてゐたので、「道路爺さん」と呼んで一般から感謝されてゐたが、今回同氏の篤行は縣當局の知るところとなつて紀元節の佳辰に感謝狀と記念品を贈られて表彰された。

千葉縣館山北條町の鋪裝

千葉縣館山北條町の道路鋪裝工作は同縣土木課に於て測量設計中であつたが今回終

了したので二月上旬より着工した。第一期
工作は北條三軒町安房中學校正門前から館
山驛前までであるが、同町民は此際航空隊
前まで一氣に鋪裝して貰ひたいと希望して
ゐる。

千葉縣吹上橋の開通

千葉縣市原郡五井町吹上げ地先養老川に
架設中なりし吹上橋は今回見事に完成した
ので、一月廿六日に盛大なる開通式が舉行
された。同橋は有効幅員二間延長九十六間
のコンクリート橋である。

東京市の道路網

大東京誕生後滿一ヶ年餘になるも、新區
域の道路は不完全にして舊村道のまゝに放
置されてゐるので、内務省都市計畫課東京
地方委員會では此等新區域の道路網完成に
努めてゐたが最近漸く工事施行の箇所が決
定したので東京市土木局では取敢ず廿區の
中十五區に土木出張所を設け着工する豫定

である。之等道路は町村を單位に最少五路
線、最大廿一路線、廿二町村で總計五百四
十五路線に達し、總面積四百七十一萬平方
里延長七十一萬メートル、工費一億五千萬
圓に達する大工事であるが決定した路線は
次の如くである。

- △澁谷區、千駄ヶ谷十三路線、澁谷町廿七
線、代々幡十八線
- △世田谷區、駒澤町十六線、世田ヶ谷町廿
五線、高井戸町十二線
- △大森區、新井町廿線
- △荏原區、大崎町廿四線、荏原町廿九線
- △目黒區、目黒町十五線、碑倉町廿三線
- △品川區、大井町廿二線
- △澁ノ川區、澁ノ川町廿一線
- △杉並區、杉並町廿二線、中野町廿二線
- △中野區、野方町卅一線、中野町廿二線
- △澁橋區、澁橋町十四線
- △板橋區、練馬町十三線、中新井町十四線、
志村十八線、赤塚十二線
- △王子區、王子町十八線

△荒川區、尾久町十一線、三河島町十四線、
南千住町九線

△向島區、隅田町五線、吾妻町十二線、寺
島町九線

△城東區、龜戸町、大島、砂町、入三町で
十八線

東京市澁谷・神奈川縣 鎌倉間専用自動車道路 計畫

東京・横濱間を結ぶ京濱國道は飽和點に
達し最近交通地獄を頻出してゐるため、こ
れが緩和策として内務省が東京府及び神奈
川縣と協力して海岸、山手、郊外の三大京
濱道路の具體化を計りつゝある折柄去る昭
和四年五月免許を得た鎌倉急行電鐵會社は
着々着工準備を進めてゐたが、交通機關の
發達に伴ふ交通の推移に鑑み、急行電車を
中止してこれを専用自動車道路に變更する
ことに決定してこれが認可を申請中である
本計畫は總工費一千萬圓を以て東京市澁谷

區澁谷驛前を起點とし、目黒、駒澤、碑衾、玉川、荻城郷、保土ヶ谷、西谷、二俣川川上、中川、戸塚、大正、藤澤、村岡、深澤等を経て鎌倉町坂下に達する延長約二十九哩八の道路である。本計畫が完成したならば湖南地方への觀光客は非常な便益を享け郊外地開發に利するところ甚大であらふ。

東北地方

岩手縣下の保勝道路

岩手縣下の名勝嚴美溪と舊跡平泉を結ぶ縣道嚴美平泉線の保勝道路は従來幅員二間に満たないため自動車の交換が出来ないので、かならず急勾配と急カーブに悩まされてゐたが、昨秋縣當局に於て總工費八千餘圓を以つて同區間三キロの改良工事に着手し、鋭意工作を急いでゐたが去る一月末に大體完成し、近く開通の運びとなつた。新道は

幅員六メートルで高さ數十尺の山林を掘り割りしたのである。従つて今後は觀覽者誘致上すぐる便利とならふ。

宮城縣栗林郡志波姫村の道路保護組合

匡救土木事業として施工された道路の改良により地方の道路網は非常に完備したが、此等道の維持修繕は今後に殘された重要な問題である。然る處宮城縣栗林郡志波姫村では早くもこのことあるを豫想して各部落に道路保護組合を組織し、組合の力によつて道路の維持修繕に努めてゐる。而して同村では各部落の保護組合に對して毎年成績審査の上獎勵金を交附する外一切は各組合の自治的奉仕精神に基いて毎年春秋二回改修箇所を選定し、村長の許可を得て各部落民が無料奉仕作業を行つてゐるものであるが、各組合で共同出資、獎勵金等を積立て數百圓の基金がある由である。従つてこの組合は同縣に於ては珍らしく模範

的なものとして各地より視察團が來てゐる。

福島縣勿來の難路の改良

茨城縣と福島縣の境界をなしてゐる勿來と平潟間の難所である九面トンネルの開鑿工事は起工以來鋭意改良工作を急いでゐたが今回見事に貫通したので、土木監督所の完工検査を受けて、立派な舗裝をほどこした。これによつて従來非常な難路とされてゐた勿來の道路も面目を一新し、交通上甚大なる好影響を及ぼすに至るであらふ。

北陸地方

新潟縣糸魚川町の道路橋梁の名稱決定

新潟縣糸魚川町では大火災後の區畫整理により新設した道路及橋梁の名稱を一般町民より懸賞を以つて募集したが、二月十五

日土木委員会で審査の結果左の如く決定した。

(一)南町通り 菅野屋前高尾旅館わきより新田町縣道に通ずる道路

(二)中町通り 山木前より城の川を渡り善導寺及び徳正寺境内に貫通しやぶそば前に通ずる道路

(三)稻荷小路 國道の南側松屋洋品店竹床わきより直指院稻荷社わき道路

(四)観音小路 大瀬小間物店わきより相澤醫院前を経て縁橋洋品店わきに通ずる道路

(五)菱橋 菅野屋前城の川に架設せる高尾旅館わきの橋梁

(六)奴奈川橋 松澤自動車店前城の川に架設せる元山の井道路に通ずる橋梁

新潟縣藏王・長生兩橋の架替

新潟縣の長岡土木派遣所が大雪を犯し、人夫を増員して鋭意改良工作を急いでゐる

地方通信

三島と長岡を結ぶ藏王橋の架替工事は昭和八年五月起工以來順調に進捗し、現在では横脚四十六本中半数を製作し残りは四月迄に完成の豫定である。尙三島と長岡を結ぶ長生橋も亦總工費十八萬圓を以つて二月二十日起工し、本年度中には鐵筋コンクリート製の橋臺三本と鐵筋コンクリート製橋脚十二本を建設し、來年二月迄に竣工の豫定である。

東海地方

静岡縣大瀬・長津呂間縣道の改良

静岡縣大瀬・長津呂間縣道の改良工事は未完成のため、伊豆南端の絶景石廊崎への自動車便は大瀬止まりで一般遊覽客に非常な不便を與へてゐたが、今回大瀬・長津呂間百七十間を總工費四千餘圓を以つて改良することに決定し、既に着工したが、三月

末までに竣工の豫定である。これが竣成の曉には長津呂まで自動車が行けることとなり、石廊崎への遊覽者は非常な便利を享けるに至るであらふ。

静岡縣伊東村道の竣成

静岡縣伊東町と小室村とで總工費八千餘圓を以つて改良中なりし、伊東町鎌田より小室村萩の神社前に至る區間二千間(輛員二間)の村道は今回見事に竣成したので、縣山村課の検査を受けたが、目出度合格した。これにより伊東より吉田を経て一碧湖に至り、途には萩鎌田を経て伊東に至る巡環道路が完成し、遊覽客を始め、諸産物の運送に至大の利便を與へるであらふ。

愛知縣名古屋・蒲郡を結ぶ鉢地坂隧道の竣成

愛知縣三河蒲郡の正面道路にして、名古屋・蒲郡を結ぶ縣道切山蒲生停車場間の鉢

一七一

地坂隧道工事は、昭和七年四月總工費十二萬四千八百餘圓を以つて起工以來鋭意開鑿工作を急いでゐたが二月上旬見事に完成したので、二月二十六日愛知縣額田郡本宿村地内たる同隧道北入口に於いて盛大なる竣工式が舉行された。同隧道の延長は四百六十八メートル、幅員は五・一五メートル、高さは四・七メートルである。

愛知縣巴橋の開通

愛知縣名古屋足助線東加茂郡足助町地内に昨年七月より總工費三萬六千圓を以て架替工事中なりし、巴橋は今回見事に竣工したので、二月廿七日同所に於て盛大なる開通式が舉行された。同橋は鐵筋コンクリートにして、延長は六十四メートル、幅員は七・七メートルである。

近畿地方

京都市の觀光道路計畫

京都市當局では總工費廿五萬七千七百圓を投じて、昭和九、十の二ヶ年間繼續事業として東山觀光道路の新設を計畫してゐる。同計畫案によれば、觀光道路は京津國道花山天文臺道を起點として將軍塚に至り將軍塚から東山山徑を通りて澁谷街道トネル東口で澁谷街道に結び更らに同街道を花山火葬場入口まで延長さすものである。此道路の延長は四千六百五十八メートル、幅員は七メートル乃至十メートル、將軍塚から圓山公園までの延長七百八十メートルは幅員四メートルに改良し、簡易舗裝をするものである。

兵庫縣網干海濱道路

兵庫縣網干町の農村振興土木事業として町役場前より直線に海濱に通ずる道路の改良工事は約二年の日數と、一萬餘圓の經費を費して鋭意工作を急いでゐたが今回見事

に完成したので二月二十三日盛大なる開通式が舉行された。同道路の完成によりて從來の海濱への不便は一掃され同町發展上に非常な影響を及ぼすであらふ。

兵庫縣水上郡生郷村の道路改良

兵庫縣水上郡生郷村石生水分橋より柏原町南多田に至る縣道は交通頻繁なるも道路狹隘なるため非常な不便を感じしめてゐたが、今回、これが改良工事に着手することに決定した。同改良道路の總延長は六百五十メートル、幅員は七・二〇メートルであるが、これが完成の曉には從來の交通禍はなくなくなり、柏原町から幸世村に至る大産業道路が完成することとなる。

中國地方

鳥取縣民の道路愛護

鳥取縣下の道路は悪道路のため、縣民は非常に不便を感じてゐるが、同縣では多額の修繕費を支出することが出来ないため昨年から全縣民に道路愛護熱を普及する目的を以つて道路愛護規定を設け道路の保全維持に努めてゐるが、同縣當局の調査によれば昭和八年中に於ける一般縣民が道路愛護に奉仕した作業の延時間は實に百五十三萬六千五百時間、其延人員は三十三萬七千人にして縣民が奉仕した努力の偉大なることを感謝してゐる。

岡山縣の道路改良

岡山縣上房郡高梁土木出張所管内川上郡牛莊村地内成羽・井原線縣道改良工作は總工費一千八百餘圓、同縣吉備郡池田村突粟地内縣道改良工作は總工費一千七百餘圓を以つて着工することに決定したので、何れも落札者の手により鋭意工作を急いでゐる。

福山市の道路舗裝

廣島縣福山市に於ては失業救済道路事業として驛前御幸通りより目下基礎工作を進行してゐるが、二月十七日よりは人夫を増加して同市内全部をコンクリート舗裝に改良しつゝある。これが完成すれば、同市も近代都市の美觀を具備すると共に市民の交通上享ける便益は甚大であらう。

廣島縣備後十日市驛前の道路改良

備後十日市驛前から十日市町へ通ずる道路は田を開いたので雨が降れば泥道となつて不便いふべからず、驛が出来ても道路がないといふ有様だつたので、驛長小早川淳氏及驛に關係ある植岡義雄氏等がこれを遺憾とし、有志を説いて改修中のところ二月十五日請負人樽岡氏らの犠牲によつて僅か二百餘圓を以つて立派に改良された。この善行により同驛乗降客は非常な便利を享けるであらう。

廣島縣豊田郡吉名村の道路網

廣島縣豊田郡吉名村當局では、三吳線の開通と共に相當大規模の驛が出来るので、同驛を中心に同村四大部落に通ずる幅員二間乃至三間の道路網を計畫し、既に大部分の完成を遂げたが、驛前道路は今日まで驛構内工事のため著手困難の事情があつて先般鐵道省の諒解を得て、驛の構内外を總工費一萬圓を以つて理想的な道路になすこととなり、これが起工式を二月二十三日舉行した。これ等の道路が完成を遂げた曉には、同村の産業發展福利増進に寄與するところが多大であらう。

廣島縣下金堀・大越海岸間村道の改良

廣島縣沼隈郡千年村字金堀・大越海岸間の村道改良工事は匡救事業費三千二百圓の

他寄附金、負擔金を合せて一萬五千圓を以つて着工され、延長千間餘を輻員二間半に擴張し、勾配を緩和したため面目を一新し熊野、山南方面からの物資は自動車運輸が便利となるので海陸連絡も迅速となり、更に鞆、松永線と海岸未改良縣道の完成によつて接続されるので、地方の産業開發に資すること甚大であらふ。

廣島縣扇橋の開通

廣島縣蘆品郡粟生村と國府村間蘆田川に架橋中であつた扇橋は昨年五月總工費四萬七千圓を以つて着工し鋭意工作を急いでゐたが順調に進捗し、此程見事に竣成したので、二月七日に盛大なる開通式が舉行された同橋は幅員五・五〇メートル、延長百三十六メートルである。

山口縣錦帶橋の架替

山口縣岩國町の錦帶橋は天下の名橋として知られてゐるが、今回總工費五萬四千餘

圓を以つて架替することに決定し、二月一日盛大なる起工式が錦帶橋下綿河原に於て舉行された。

四國地方

香川縣高松・屋島間の觀光道路

香川縣高松市から屋島に至る間の道路を觀光道路として國營を以つて施工される様地元より政府當局に運動中であつたが、此程愈々神戸土木出張所の手によつて國營を以て施工されることに決定した。而して第一期工事は高松市鹽上橋から春日川橋に至る三千メートルである。

愛媛縣城山登山自動車道路開設方陳情

愛媛縣松山市の松山觀光協會では二月六日定期總會を開催して、松山城山公園は從

來徒歩で登山せねばならぬので相當の時間を要するため多數の觀光團體の豫定から除外されてゐるのは遺憾であるから、市當局に於て速に城山登山自動車道路の開設、西山地方は名勝舊跡多く遊覽地に好適であるから同方面に通ずる自動車道路の新設を各方面に陳情する様決議した。

高知縣下後免・長濱線の工事進捗

高知縣長岡郡三里村に於ては昭和八年度匡救土木事業として工費七千五百圓を以て目下工事中の縣道後免・長濱線の同村吹井松坂切下げ工事は昨年起工以來鋭意工作を急いでゐたが来る三月末までには完全に竣工する豫定である。同工事成るの際には同地方の交通は非常に便利となるであらう。

高知縣佐川久萬田線道路の開通

高知縣高岡郡佐川町に於ては昭和八年度

匡救土木事業として昨秋起工以來鋭意改良
工作を急いでゐた佐川町東町と青去を連絡
する町道久萬田線は今回は見事に竣成した
ので一月二十八日午後二時より新道路起點
なる春日に於て盛大なる開通式が舉行され
た。これによつて同町方面の交通は非常に
便利となるであらう。

九州地方

福岡縣の觀光道路網

福岡縣下の史蹟、名勝、遊覽地等を近代
人の生活に結びつけんとする同縣土木部
の計畫にかゝる豪壯雄大なる觀光道路網を
福岡市を起點として同縣の中樞を兩斷し
て行橋に至る一大幹線道路を始め英彦山、
日田、耶馬溪を結ぶ國際觀光道路、福岡よ
り唐津に至る坦々たるドライブウエイ其他
の道路は工費四百六十餘萬圓を以つて起工
以來鋭意工作を急いでゐるが、順調に進捗

し、現在に於ては工程半か或は完成の域に
達してゐる。而して以上の觀光道路の工事
概要は次の如くである。

- (一)福岡・唐津線 (總工費四十一萬圓)隣
縣佐賀の觀光道路計畫の具體化と共に一
段と完全な聯絡を期待され、目下福岡加
布里間の工事竣工し、十二年度までには
縣境に達成する豫定である。沿線の風光
は西公園、生の松原、元寇全滅の古戰場、
玄海灘の壯大な景色、虹の松原等の史蹟
名勝は枚舉に暇がない。
- (二)國際觀光路 (總工費四十萬圓)これは
英彦山、日田、耶馬溪などの奇勝を結ぶ
最も風景に富んだ路線にして、十二年度
を以て完成する豫定である。由來この路
線は英彦山日田の國立公園設定と極めて
緊密の關係を有し特に大分縣の觀光道路
計畫樹立によつて百パーセントの効果を
齎すものであるから近き將來の完備が待
望的となつてゐる。
- (三)奈多・志賀島線 (總工費十萬圓)灣鐵

奈多驛から海の中道を縦斷して志賀島に
至る福岡市近郊の清遊地として、絶好の
風景路にして明年度竣工の豫定である。

本路線は滿潮時は道切となる海ノ中道の
地點にはすでにコンクリートの近代的橋
梁も出來上つた、玄海と博多灣に挟まれ
自砂青松の地、鮮魚と枇杷がこの地の名
産でドライブウエイが完成すれば都會人
士の休暇逃避行が多くならう。

(四)宇美・湯町間環狀線 (總工費二十六
萬圓)これは福岡市から宇美、太宰府、
湯町を経て又福岡市に歸る環狀線にして
明年度に完成の豫定である。この路線は
風光より寧ろ宇美、太宰府の如き由緒あ
る史蹟、寶滿山、四王寺山への登山、武
藏温泉の遊浴等に便利である。

(五)羽犬塚・矢部線 (總工費九十萬圓)
これは昭和十三年竣工の豫定にして、熊
本縣に近い幹線道路で沿線は筑後耶馬溪
の名高い日向神峽の溪谷美散在し、神秘
的仙境を探るに相應はしい風景路線にし

て、完成の曉には遊覽客が激増するであらう。

(六) 福岡・行橋線 (總工費二百五十萬圓)

本路線は最長距離の最大幹線にして、昭和三年着工、同十二年度竣工の豫定にして、通過地の主なところは篠栗、飯塚、後藤寺、伊田等で現在は福岡市より粕屋郡仲原村まで鏡のやうな舗装道路が出来上り、風景地としては若杉の靈山、櫻の名所新吉里(七曲り)があり觀光路より産業開發に利する點が甚大であらう。

宮崎縣の霧島山觀光道路計畫

宮崎縣當局では霧島山の國立公園指定を前にして二百萬圓の巨費を投じて大規模の土木事業を起す計畫を樹立し、先づ第一に霧島山登山道路、高千穂、新燃、韓國の三高峰を結ぶ山頂縱走路等を開設する豫定であ

る。而して霧島山觀光道路計畫案の主要は次の如くである。

(一) 觀光道路 飯野・白鳥・韓國線(三里) 小林・霧島線(三里半) 京町・霧島線(七里) 狭野・霧島線(五里) 延長合計十八里半の四線を縣道に認定し、そのうち飯野・白鳥韓國線は目下開鑿中である。

(二) 逍遙道路 右四線の登山道路を連絡するもので、不動ヶ池、六觀音、大幡池、

六觀音御池の三線路。

(三) 縱走路 高千穂の峰より新燃を經て韓國嶽に至る道路。

(四) 觀光環狀線 霧島山麓のうち宮崎縣内の飯野、小林、高原を繋ぐ山麓遊覽線。

鹿兒島縣の循環道路

鹿兒島市では八年度匠救事業費八萬圓をもつて市の循環道路たる市内冷水、玉里兩町間を結ぶ切り通し工事は三月末に完成をみるこゝとなつたが現在までの従業員の延

人員は約一萬人に達し切下げ道路より頂上の峠までは百七十尺もあつて本縣第一の峠といはれ當局では如何なる大雨にも絶對安全だといつてゐるが完成の曉には循環ベネも運轉する由。

佐賀縣唐津市の道路橋梁新設計畫

佐賀縣唐津市の中央部から二の門に通ずる道路橋架の新設は市の交通面目を一新する上から久しく市民に待望されてゐたが今回いよいよ縣から工事認可となつたので近く工事着手の方針である。

同改良工作は總工費一萬六千二百圓を投じ導水堤突端から二の門に向け海上に延長し、六間半、幅員四間半のコンクリート橋(總工費一萬一千圓)を架設し更に橋際から二の門河村市長宅西側に直通する延長五十間、幅員六間半の道路(工費約五千圓)を新設するものである。